

# 平成29年度群馬県立義肢製作所事業計画

## 1 基本方針

身体に障害のある方の福祉の向上と地域社会における自立生活を支援するため、低額な料金で義肢装具の製作及び修理を行い、もって在宅福祉サービスの充実を図り、併せてセーフティネット機能の十全な発揮に努め、身体障害者福祉法に定められた補装具製作施設としての本来的な役割を担うことで、障害者福祉サービスの一層の増進に寄与します。そして、障害の有無にかかわらず、誰もが住みやすい社会を目指し、実現のための努力を続けていきます。第4期指定管理期間（平成29年4月1日から平成34年3月31日まで）の始まりの年として、これまでの経験を元に、更なる飛躍を目指します。

## 2 事業内容

### （1）補装具に関する事業

#### ① 補装具に関する無料相談

支給制度や技術的な事柄に関する相談に対し、公立の補装具製作施設として利用者及びご家族、関係者の不安に寄り添い、来所や電話で経験豊富な職員が積極的に対応します。

#### ② 出張相談による対応

県立障害者リハビリテーションセンター、特別養護老人ホーム、また利用されているデイサービスも含めた様々な施設、在宅を訪問し、補装具の相談・指導や製作・修理などを実施します。

#### ③ 補装具の無料・低料金・貸出による対応

利用者の増加とサービスの一層の向上を図り、無料・低料金・貸出による対応を積極的に行います。

#### ④ 座位保持装置に対する無料・低料金による対応

主に進行性難病療養者への、座位保持装置などの無料貸出や相談など、民間業者では対応できないきめ細かい支援を続けます。

#### ⑤ 障害者スポーツ大会への協力

群馬県障害者スポーツ大会の救護員としての協力及び、障害者スポーツの発展、東京パラリンピック開催に係る支援のため、義肢装具だけでなく、車椅子等幅広い分野をカバーできる義肢製作所として協力していきます。

#### ⑥ 県心身障害者福祉センターとの協力

県心身障害者福祉センターが行う巡回相談や在宅訪問診査に同行し、利用者に最適な補装具の提供を迅速に行います。

### （2）重度障害者用意思伝達装置に関する事業

#### ① 無料相談・無料貸出による支援

重度障害者のため、重度障害者用意思伝達装置の無料貸出を行います。

#### ② 多職種連携で支援

県や市、関係する団体、企業等と密接な連絡体制を構築し、「オール群馬サポートチーム」を合い言葉に、総合的な体制で支援します。

#### ③ 意思伝達装置開発のための研究

群馬大学や、関係機関と協同して重度障害者用意思伝達装置に係る開発のための研究に携わります。

#### ④ 意思伝達装置や関連機器等の研修会

市、県の各関係機関と協力し、保健師や看護師等への研修を行い、基礎知識の普及や適切な対応などを講義します。

### 3 重点項目

#### (1) 地域に密着したサービス

今後ますます加速すると思われる超高齢社会に対し、地域包括支援センターと協力し、介護支援専門員や、保健師等への補装具の研修を行います。その中で、障害者だけでなく、高齢者、子供も含めた総合的な視点から、日常生活用具、福祉用具の紹介を通じ、県民の福祉向上を図ります。

#### (2) イベントの開催

2020年東京オリンピック・パラリンピックへの機運を高めるため、障害者スポーツの体験や、義足使用者への歩行訓練など、専門家を招いたイベントを行います。

#### (3) 情報の発信

ホームページやフェイスブックを活用し、県立義肢製作所の業務の紹介やイベントの情報を公開します。

#### (4) 県内民間義肢製作所との連携

公立の補装具製作施設として、利用者だけでなく、県内の民間義肢製作所に対する研修会、情報交換会を行い、技術、知識の向上を図ります。

#### (5) 県立障害者リハビリテーションセンターとの連携

県立障害者リハビリテーションセンターの重度棟新築に合わせ、ALS患者に対する知識、コミュニケーションツール実技、指導及び関係機関との協力体制構築の支援を行います。

### 4 その他

#### (1) 省エネの実施

不要場所の照明消灯、電灯の間引きを行います。また、オープン等の工作機械は効率よく使用し、節電に努めます。

#### (2) リユースの実施

不要となった補装具を使用可能な部品と廃棄部品に分別し、リペアすることで、修理や新調するまでの間の代替使用ができるようにパーツの再利用を図ります。また、不要となった車椅子は使用可能な部品を集めて、再び車椅子として使用できるように修理し、障害者関連施設等に寄付いたします。

### 5 年間目標

#### 補装具製作・修理実施計画

製作	修理
330件	310件

#### 意思伝達装置等難病支援に関する無料貸出・相談件数

相談	貸出
225件	130件